

# 将来ビジョン及び必要な取組・事業

別紙様式1

<b>提案主体名</b>	両備ホールディングス株式会社
<b>提案プロジェクト名</b>	都市交通の大改革「エコ公共交通大国おかやま構想」実現プロジェクト
<b>都道府県名</b>	岡山県
<b>対象地域</b>	岡山市
<b>市町村名</b>	岡山市
<b>① 関連する分野</b>	環境（低炭素・大気環境） 超高齢化（健康・安心・安全） その他（地域活性化・輸出産業の創造）

**② 将来ビジョン（環境価値、社会的価値、経済的価値の創造に関する総合的な目標（2050年を見据えた上での2020年、2030年の姿））** ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。

2009年4月に政令指定都市となった岡山市のこれからの発展は、交通の拠点性を活用した商都、学都、医都としての魅力を発揮するとともに、先進的に環境と高齢化に対応した生きがいのある都市機能を創ることにより成し遂げられる。その実現のために、岡山市を発信地として、LRTと新世代バス(電気、LNG等)を中心として、環境と高齢化に対応し、情報システム化した次世代へ誇れる公共交通に大改革するエコ公共交通大国おかやま構想を実現を提案する。価値の創造、目標について、①世界一のエコ公共交通都市を岡山市において実現する②岡山市内にある三つの商店街の回遊性を高め、活力あり、買い回り期待のある商圏人口を現状の60万人から人口の2倍の140万人を目指して、都市の活力をつくり出し、少なくとも年間1000億円以上の第三次産業のプラス効果を期待する③後楽園下へのLRTの延伸で、ミシュランで3つ星を獲得した後楽園やカルチャーゾーンの魅力度をアップし、観光都市おかやまを具体化する④公有民営により、高齢者無料化などの施策で高齢者の外出を促し、老年期認知症の発症を抑制し、健康で自立できる、生き甲斐のある都市を目指す⑤CO2排出量25%削減を目指し、抑制することで国際的公約を実現する国際都市を目指す。地域公共交通の活性化と再生を目標に、高齢化の進む地方の住民の交通権を公共交通で保障する。乗用車からバスへの転換を図りCO2の排出を4分の1に削減、高齢者が家から気軽に出かけられることにより老年期認知症を激減させる。住民の健康増進に寄与できる福祉のまちづくりを実現すること。また「晴れの国おかやま」を標榜するように、岡山県を含む瀬戸内地域は日照に恵まれており、太陽光発電等で、この公共交通の電力を賅えば、最高に「安全・安心・エコで健康」な都市づくりができる。この「エコ公共交通おかやま構想」のハード、ソフトは自動車産業を補完し、世界の環境を良好化する輸出産業に育て上げる期待も持て、国内産業が活性化される。

**③ 将来ビジョン（②に記載した目標の実現のための取組の基本的な考え方）** ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。

基本的には、国民に交通権を前提とした交通基本法の成立とその財源の確保が不可欠だが、今までの補助金行政とは違う先進的取り組み事例として、世界に誇れるエコ公共交通大国への実証を、政令指定都市となった岡山市の次世代へ誇れる事業として実証する。基本は、公有民営による官の役割と民の役割を明確にした施策により、LRTと新世代バスによる「歩いて楽しいまちづくり」であり、環境に優しく、高齢化社会に対応した先進且つ、総合的都市交通システムを実現すること。具体的には、法定協議会を立上げ、①環境に優しく、市街地の公共交通として世界的に注目されている、次世代移動装置としてLRT(路面電車)の延伸により、エコでバリアフリーなシステム化された回遊性のまちづくりを実現すること②岡山駅前を除く、新しく延伸した路線は架線レスとする③キックオフとして、超低床車両MOMO2号を先ず導入し「エコ公共交通政令市おかやま号」と銘打ち、岡山市の広告塔として、車内には市の広報やワンストップのアイデアを盛り込んで、官民一体の都市づくりをアピールする④環状化されて一部架線レスの路線は、未来型の充電式電車(世界初のSWIMOなど)を登場させて未来都市を「見える化」する⑤岡山駅ターミナルは、2階から方面別化、乗り物別化する透明チューブのエスカレーターを配して、交通拠点としての未来都市を象徴するシンボルとする。⑥電気バスのシームレス化による乗り換え利便性の向上。電力を太陽光発電等のクリーンな発電とすることで、世界に冠たるエコ公共交通で、高齢化社会に対応し、活性化された都市づくりを目指すことができる。

**④ 将来ビジョンの実現のために5年以内に必要となる具体的な取組・事業(技術・システム、サービス、仕組み等)**

番号	取組・事業の名称 ※異なる名称を付けてください。	取組・事業の概要 ※500文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。	取組・事業の期間	実施主体・運営主体 ※複数主体の連名の場合は「、」で区切って記入するとともに、それぞれの役割を( )内に記入してください。	価値、分野の種類	国の支援の必要性 ※必要性がある場合、「○」を記入してください。
(1)	路面電車の駅構内乗入れ	路面電車を岡山駅構内に乗入れて、電車とバスによる分かりやすい方面別乗り場を実践する。	1~2年内目標	岡山市・岡山電気軌道株	安心安全	「○」
(2)	路面電車の延伸、環状化	路面電車を岡山駅～市役所～水道局～岡大病院～清輝橋に延伸し、環状化する。	2~3年内目標	岡山市・岡山電気軌道株	大気環境・安心安全	「○」
(3)	路面電車の駅西口延伸	路面電車を岡山駅西口に延伸し、奉還町～岡山駅～表町の各商店街の回遊性を図る。	3~4年内目標	岡山市・岡山電気軌道株	大気環境・安心安全	「○」
(4)	路面電車のカルチャーゾーンへの延伸	路面電車を城下～後楽園下に延伸し、カルチャーゾーン内の回遊性を図る。	4~5年内目標	岡山市・岡山電気軌道株	大気環境・安心安全	「○」
(5)	路面電車と路線バスのレール&バスライ	路面電車を清輝橋～岡電岡南営業所、水道局～JR大元駅前へ延伸する。岡電岡南営業所、大元駅前、東山をターミナル化し、レール&バスライで路線バスのシームレス化を図る(コインパーキングとの連携も検討。P&Rや、C&R)。	6~10年内目標	岡山市・岡山電気軌道株	大気環境・安心安全	「○」
(6)	路線バスの情報化、バリアフリー化	市内バスはバスロケで情報化するとともに、全車両バリアフリーで環境対応の新世代(電気、LNG)バスに入れ替える。	2~7年内目標	岡山市、岡山県バス協会	低炭素・大気環境・安心安全	「○」
(7)	「歩いて楽しいまちづくり」を確立	将来、一人乗りのマイカーはロードプライシング等で市内乗り入れを制限し、バス・タクシー専用レーンを設けることで、郊外でパーク&レール&サイクル・バスライ(6ヶ所)を実施して「歩いて楽しいまちづくり」を確立。市内中心部の環境を守り、かつ、歩くことで、まちの賑わい等の活性化を図る。	10年内目標	岡山市、岡山県バス協会	大気環境・安心安全・高度情報集積・健康	「○」
(8)	太陽光発電と蓄電システムの構築	日照の良い瀬戸内海沿岸地域に大量の太陽光パネルを設置し、充電式の電車・バスの蓄電池を活用して、太陽光発電の電力を蓄電・補完するシステムを構築する。	5~10年内目標	国、岡山市、両備ホールディングス株	低炭素・大気汚染対策	「○」
(9)						
(10)						

**⑤ ④に記載した技術・システム等をインテグレートして実現するイノベーションの内容** ※本欄には1000文字以内の要約を記載願います。詳細資料は参考資料(様式自由)として添付してください。

- ① LRT(路面電車)の延伸化。延伸した路線は「架線レス化」を行う。世界初の充電式車両「swimo」を導入。バスは電気バスを導入。電車・バスターミナル化による電車・バスのシームレス化を図る。
- ② IC化、PTPS、バスロケの導入による情報システム化した次世代へ誇れる公共交通に大改革する。
- ③ 太陽光発電と充電式電車を組み合わせ、充電式電車で太陽光発電と夜間電力の蓄電能力を保持する技術を加えて、究極のエコな公共交通機関を実現する。